

— 難民女性の経済的な自立を支援する —

子ども用品づくりの職業訓練とフェアトレードで、

バングラデシュの難民女性をサポート

ウィメン・リーディング・フォー・ライブリフツ (WLL) ・プロジェクト



プロジェクトの目的

子ども用品をつくるための訓練を行い、女性の雇用を創出することを目指します！

場所

バングラデシュ南東部の
コックス・バザール

プロジェクト実施 期間

18 ヶ月

事業委託パートナー

「Hathay Bunano」

<http://www.hathaybunano.com>

予算

16 万 7,706 米ドル

背景

バングラデシュには、南東部のコックス・バザール地区に二つの難民キャンプがあります。1991年に25万人もの人々がミャンマーからバングラデシュに逃げてきました。彼らはロヒンギャと呼ばれる少数民族で、ミャンマーでは民族、言語、宗教的に少数派です。その多くがミャンマーに帰還したものの、未だに2万8千人が難民として二つのキャンプに暮らしています。

17年にわたって避難を強いられ、ミャンマーに戻ることも、バングラデシュのコミュニティの一員として定住することも難しく、難民の人々は厳しい生活を余儀なくされています。バングラデシュのロヒンギャ難民の問題は、グテーレス国連難民高等弁務官が優先して取り組まなければならないとする長期化した難民問題の一つです。

このプロジェクトは、ロヒンギャ難民の女性たちと近隣の村に住むバングラデシュの女性たちとがともに働き、収入を得ることを支えるもので、難民女性とバングラデシュ人の女性たちとがプロジェクトという形で一緒に働くのは初めてのことになります。このプロジェクトはきずなと希望を生むだけでなく、コミュニティにおける性暴力を軽減し、幼くして結婚するのを思いとどまらせます。さらに、健康や衛生面の水準を改善し、家族内での意識を向上することにつながります。

目的 (プロジェクトの趣旨)

- ・ 職業訓練と雇用を通じて、女性たちの能力を強化します。
- ・ 障害を持った女性たちが地域社会で働けるように支援します
- ・ 難民とバングラデシュ人のコミュニティとの関係を改善し、暴力を軽減して難民家庭の生活の質を向上します

活動内容

- ・ バングラデシュの非営利団体「Hathay Bunano」の女性の雇用創出の成功事例に基づき、15の村に生産拠点を開設
- ・ 編み物と手芸の技術指導を実施
- ・ フェア・トレードの方針に基づき、輸出用に子ども用品や手工芸品を生産

期待されるプロジェクトの結果

- ・ 最低でも1500人の女性に持続的な雇用をもたらし、彼女たちの家庭の生活の質の向上に
- ・ 最低でも30人を非営利団体「Hathay Bunano」の生産拠点の監督者として採用

